

## 2023年度 市野与進こども園 事業報告

2023年の全国の出生数は8年連続で減少し、過去最少を更新しています。浜松市においても、出征数が前年度よりも7,2%減の4,844人となり、急速な少子化が進む中、2023年度の当園の園児数は前年度並みの確保ができました。しかし、人口減少にともなう保育園・認定こども園の供給過多は間違いなく現実の問題となってきます。地域の中で「選ばれる園」となるために、自園の保育理念や保育観を職員間で確認し、子ども主体の軸のぶれない保育の共有化に努めてまいりました。

職員関係では産休育休の職員が前年度から継続の1名に加え6月、7月に1名ずつ、3月末に2名と合計5名休職者数となりましたが、年度途中で正規職員を1名採用することができ、職員配置はほぼ予算通りとなりました。

また、仕事量の軽減のために、ICT化による書類作成や保護者への配信に向けてネット環境や機材調達等の準備をし、計画的に会議を開き職員に運用方法等、理解を深めることができました。安全危機管理の面では、不適切保育の研修への参加や園内のヒヤリハット、事故報告の洗い出し、意見交換など、園児の安全安心を最優先に保育教育を進めてまいりました。

### 【重点目標及び施策への取り組み】

#### 1. 保育サービスの質の向上

- ① 子どもが主体的に過ごせる環境づくりを目指し、外部講師（聖隷ひばり保育園 坪川氏）に各クラスの生活や遊びの環境を見ていただきました。そこでのアドバイスを基に職員間で保育を振り返り、保育室の環境や子どもへの関りを見直す機会となりました。  
子どもの声をよく聴き、表情やしぐさから思いを受け止め、「その子らしさ」を理解する。子ども理解を学び、専門職としてのスキルアップに繋げることができました。
- ② 園児に関する事故や不適切な関りをめぐる報道が相次ぐ中で、職員は多少なりとも自信を無くしたり不安を感じているのが現状です。  
職員会議で「事故報告」「ヒヤリハット」を活用して子どもの育ちや職員自身の行動分析を行い、保育中の安全管理を行ったり、コンプライアンスの勉強会を実施し専門職としての倫理的責任や行動規範を踏まえ、子どもの権利を保障する教育保育について考え合う機会としました。
- ③ 保護者が安心して子どもを預けられ、子どもの成長に喜びを感じられるよう、保護者の携帯アプリに園での様子を配信すると同時に送迎時や保育参加の折に、個別の成長について直接話す機会を大事にしてまいりました。

#### 2. 職員が働きやすい環境作り

- ① ICTシステム「コドモン」の導入にあたり、記録業務の必要性や様式について話し合い、見直しを行うことで、職員が主体的に仕事量の削減に向けて取り組むことができました。
- ② 発達に偏りがある子どもや既往歴のある子どもに対して、定期的に専門職（心理士、小児神経科医）からのアドバイスをいただくことで職員は安心して保育にあたることができました。
- ③ 子育て中の職員が多く、急な休みや早退への対応が多くありました。主幹保育教諭を中心に、チーム保育を意識し協力体制をとることができました。  
ソフト面ハード面の両方から、職員がのびのびと保育ができる人的環境と安全で安心できる物的環境の整備に努めてまいりました。

#### 3. 人材確保と育成

- ① 年度途中で扶養範囲内で働くパート職員の勤務時間見直しがあり、雇用時間を短縮するパート職員が数名いました。人手不足に繋がることはありませんでしたが子育て、介護等ワークライフバランスも考慮しながら可能な限り勤務時間を長くしてもらえよう、引き続き働きかけていきたいと思えます。

- ② 実習生の受入れを積極的に行い、若手職員から保育の楽しさややりがいを実習生に直接伝えることを意識しました。学生は年齢の近い職員に気軽に質問ができ、職員自身は先輩としての自覚を持ち、保育に対するモチベーションアップにも繋がっています。
- ③ 個々の職員の必要に応じたキャリアアップ研修に計画的に参加することができました。また、法人の経験年数別の研修会に参加することで、一人一人が組織の中で求められている事柄や専門性を意識化する機会となりました。

4.「地域における公益的な取組」を含む地域貢献活動の充実

- ① 地域の子育て中の保護者を対象に、「離乳食講座」「ベビープログラム」「園庭開放」「親子ひろば」を実施し育児不安の解消や入園に向けての情報提供等を行うことができました。
- ② 地域の方の定期的なボランティアや中学生の保育体験の受け入れを行い、園児とのふれあいや環境整備中心に、保育現場を体験してもらうことで、保育士の仕事内容の奥深さを伝えることができました。
- ③ 地域の老人会「いかまいかい」の集いに5歳児が参加し、歌やダンスを披露し交流の場を持つことができました。子どもたちは地域の方から大切にされていることを実感しました。
- ④ 近隣のこども園・幼稚園や小学校との交流を通して5歳児は、就学に向けて大きな期待が膨らみました。
- ⑤ 近隣の協働センター改装工事のため、第2、第4土曜に NPO 法人サステナブルネットに西側駐車場をお貸しして「ひとり親家庭のためのこども食堂」を開催しております。

【園児数実績】

<人>

定員	2.3号	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	平均
	1号													
5歳児	35	26	26	26	26	26	26	26	25	25	25	25	25	25.6
	3	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
4歳児	35	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28	28
	3	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
3歳児	35	32	32	32	32	32	32	32	32	31	31	31	31	31.7
	3	2	2	2	2	2	2	3	3	3	3	3	3	2.5
2歳児	34	32	32	32	32	32	32	32	32	32	32	32	32	32
	2	0	0	0	0	1	1	1	2	2	2	2	2	1.1
1歳児	21	26	26	26	26	26	26	26	26	25	26	26	26	25.9
0歳児	20	15	15	15	15	15	16	16	17	17	19	19	19	16.5
合計	191	170	170	170	170	171	172	173	174	172	175	175	175	

【一時預かり事業実績】

<延べ人数>

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
11	17	12	11	6	9	22	29	19	11	14	11	172

【親子ひろば実績】

<延べ人数>

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
24	28	23	31	0	37	74	22	30	14	21	4	308